

令和3年度の事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 草木谷を守る会

1 事業の成果

里山の保全と八郎湖の水源地としての機能確保に努め、地域住民参加型の体験型環境教育の実践、地域の活性化に資することを重視し地道な活動を展開した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数 | (D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数 | 事業費の金額 (単位：千円) |
|---------------------------|---|---|---|-------------------|
| ①環境学習(里山保全と八郎湖の環境再生活動)事業 | 八郎湖の環境と農業との関係をつかむことをねらいとした、潟上市立大豊小学校5学年の環境学習の一環である、「田んぼの楽校」を、無農薬・有機肥料で環境に配慮した稲作を昔ながらの手作業で、年間を通して実施した。 | (A) 5月19日 (オリエンテーション) 5月28日 (田植え) 7月16日 (草取り) 9月27日 (稲刈り) 10月15日 (脱穀) 12月10日 (縄ない体験) (B) 草木谷 大豊小体育館 (C) 13人 | (D) 潟上市立大豊小5年生と関係者 (E) のべ290人 | 182 |
| ②地域住民と協働の環境に配慮した酒米栽培交流会事業 | 地域住民(高校生・大学生含む)と協働で、減農薬・有機肥料の環境に配慮した農作業を実践し、「里山保全」と「八郎湖の環境再生」を目指すと共に、参加者に地域資源の大切さを伝えた。 | (A) 5月23日 (田植え) 10月17日 (稲刈り) (B) 草木谷 (C) 11人 | (D) 環境再生活動と石川理紀之助翁に関心がある方 (E) のべ130人 | 651 |
| ③子ども適産調リキノスケ未来塾 | 未来を担う地元子どもたちが、地元の若い経営者さんや農家さんなどから「どこにでもあってあたりまえのものを宝ものに変える方法」を聞き、その後、地域に眠っているお宝を探す「適産調(フィールドワーク)」を行った。リキノスケの精神を受けつぎ、将 | (A) 7月25日 (川の水生物調査) 11月23日 (餅つき) (B) 豊川 潟上市多目的交流施設 (C) 12人 | (D) 潟上市内在住の小学生から大学生 (E) のべ70人 | ②と共同事業 |

| | | | | |
|------------------|--|-------------------------------|------------------------|----|
| | 来、秋田で農業や八郎湖に携わった仕事につき、秋田のお宝を伝えていきたい…という思いで始めた人材育成プロジェクト。 | | | |
| ④その他目的を達成するための事業 | ホームページ等による情報の受発信 | (A) 随時 (B) 事務所など (C) 2人 | (D) 不特定多数 (E) 不特定多数 | 20 |